

3 市民スポーツの振興

基本方針	<p>市民一人ひとりがスポーツに気軽に親しみ、健康の維持・向上が図られるよう、またスポーツ観光都市として観光客等のニーズに応えられるよう、既存スポーツ施設の整備充実に努めるとともに、スポーツクラブの育成や指導者の養成、スポーツ教室・大会の充実など、スポーツの日常化に向けた活動の場と機会の充実に努めます。</p> <p>また、各種大会・競技の開催や誘致に向けた受け入れ体制を整備し、市民のスポーツに対する意識の高揚を図ります。</p>
------	---

○スポーツ施設の整備充実

事業等名	スポーツ施設の整備充実
概要	施設の老朽化や学校の適正配置を踏まえ、総合運動施設に関する全体計画を策定し、総合体育館・弓道場など、スポーツ施設の整備充実を図ります。
実施状況・成果と課題	<p>【実施状況】</p> <p>社会体育施設のうち、小湊スポーツ館においては消防設備、照明器具の改修、また体育センターにおいては浄化槽の修繕を実施するなど、限られた予算のなかで安全で快適な施設の提供に努めました。</p> <p>総合運動施設のうち、サッカー場には人工芝の敷設と夜間照明・防球ネットの設置などの改修を施しました。また、市営野球場については、老朽化が著しかった屋外トイレを改修し、来場者への利便性向上を図りました。また、野球場・ソフトボール場グラウンドへの土の補充などを行い、プロ野球千葉ロッテマリーンズキャンプをはじめ市民スポーツ団体、市外からの合宿利用への受け入れ体制を整えました。</p> <p>多目的施設の整備については、8月26日に多目的施設建設検討委員会を設置、計4回にわたる会議を経て、各部屋の大きさや配置、空調、音響、材質など詳細を議論し、1月26日に基本設計として取りまとめました。さらに、この基本設計を基に、より詳細な実施設計に着手しました。</p> <p>また、ソフト面においても、インターネットを活用した施設の予約システムを開発し、施設利用の利便性を図り、効率的な利用者管理に努めました。</p> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合運動施設については、野球場を中心に7～8月、2～3月の長期休暇期間中は、大学や高校の合宿等に活用されており、11月中に開催されたプロ野球「千葉ロッテマリーンズ」の秋季キャンプでは22,681人の来場を受け入れました。 ◎ 10月18日には、改修工事が完了した第3種公認陸上競技場において、県民体育大会陸上競技が県内33郡市から総勢700人以上の参加により盛大に開催されるなど、市民スポーツの振興はもちろん、大会や合宿利用による地域活性化にも貢献しました。 ◆ 総合運動施設の整備計画に基づき、今後も、総合運動施設の計画的な整備・改修を図るほか、社会体育施設のなかで老朽化が著しく、今後の利用が見込めない施設については、廃止・統合も視野に効率的な運営をめざして参りたい。 ◆ 多目的施設について平成28年度には、より詳細な実施設計や建設着工が予定されることから、これらに必要な協議や各種手続きなどを、計画的に進めて参りたい。 ◆ 社会体育施設及び学校開放施設に関して、受益者負担の原則に基づく有料化について引き続き検討して参りたい。 ◆ 休止中の市営芝浜プールについて、敷地所有者である財務省と協議を進めながら、地域全体としての有効活用の可能性を模索して参りたい。 ◆ 平成28年度から始まる「鴨川市第3次5か年計画」及び「第2期鴨川市教育振興計画」に基づき、これらの課題に重点的、弾力的に取り組んで参りたい。

○市民スポーツの振興

事業等名	多様なスポーツ活動の推進
概要	多様なスポーツ活動の推進のため、総合型地域スポーツクラブの活動を中心に支援します。
実施状況・成果と課題	<p>【実施状況】 平成15年3月に誕生した鴨川市の総合型地域スポーツクラブ「鴨川オーシャンスポーツクラブ」は、設立13年目を迎えました。「常設種目」として、サッカー、ソフトテニス、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、ボクシング、健康スポーツ、計8種目を月2回～8回の頻度で展開しました。 活動では、土・日曜日を中心に学校体育館、民間施設が使用されています。種目には、子どもから高齢者まで会員なら誰でも参加でき、どの種目でも自由に選び、行き来することができます。 以上の事を踏まえ、誰もが生涯にわたり様々なかたちで、スポーツに親しめる環境づくりに努めました。</p> <p>【成果と課題】 ◎平成27年度の鴨川オーシャンスポーツクラブ会員数は、指導者30名を含め、109名（男：53、女56）でした。（指導者を除く会員数はH17年度末：151名、H18年度末：231名、平成19年度末：202名、平成20年度末：192名、平成21年度末：155名、平成22年度：166名、平成23年度：164名、平成24年度：158名、平成25年度：177名、平成26年度：180名）。 開催の趣旨どおり、既存の団体の枠にとらわれず、子どもから高齢者まで世代間の交流を深めながら気軽にスポーツを楽しみ、健康・体力の増進が図られました。</p> <p>◆設立から13年目を迎え、会員数が伸び悩んでいますが、内容の充実とともに、既存の団体では実施していないような、より魅力的な種目の開設、広報活動等を進め、会員数の増加をめざして参りたい。それには、指導者の確保が何より重要であり、スポーツ団体や指導者との信頼関係、人脈、つながりを積極的にすることで、確保に努めて参りたい。</p> <p>◆更に、継続して活動していくための仕組みづくり、自主運営についても、総合型地域スポーツクラブの趣旨に沿ったかたちで検討していきます。今後も総合型地域スポーツクラブを通じた「市民総スポーツ社会」の推進を図るため、先進事例等を参考にしつつ、取り組んで参りたい。</p> <p>◆平成28年度から始まる「鴨川市第3次5か年計画」及び「第2期鴨川市教育振興計画」に基づき、これらの課題に重点的、弾力的に取り組んで参りたい。</p>

事業等名	競技スポーツ活動の推進
概要	鴨川市体育協会及び地域競技団体等との連携による、競技力向上対策の推進
実施状況・成果と課題	<p>【実施状況】 鴨川市体育協会は、16の競技専門部からなり、市民の体力向上と併せて競技力の向上を視野に入れ活動していることから、千葉県民体育大会への選手派遣を行うなど、上位入賞等をめざし活動しました。 また、市民のスポーツ振興と健康づくり、競技人口の底辺拡大をめざし、弓道、ボウリング、ゲートボール、ゴルフの4競技専門部が市民スポーツ大会を開催しました。 県南初の女子サッカーチーム「オルカ鴨川FC」が、県リーグ1部優勝に続き全国リーグへの昇格を果たすなどの活躍を見せました。</p> <p>【成果と課題】 ◎本年度の県民体育大会では、競技種目における入賞、得点の獲得はならなかったものの、水泳競技において石井慎吾選手が50mバタフライ優勝、また、陸上競技において熊谷周順選手が棒高跳び優勝など、本市選手が好成績を収めました。 ◎鴨川市体育協会が主催するスポーツ指導者研修会が、今年度も「ケガの応急処置と予防」をテーマに開催され、体協専門部員やスポーツ推進委員、スポーツ少年団指導者など約80人が参加しました。 ◎オルカ鴨川FCの活躍が、地域サッカー熱の高揚に加え、サッカーレベルの向上や女子スポーツの振興にも多大な貢献を果たしました。 ◆競技力向上推進のため、引き続き指導者の確保・育成への取り組みが必要です。専門的な実技指導やスポーツ医学的な指導方法を学べる研修会等の機会をつくるなど、地域指導者のレベルアップが求められています。 ◆上記の実技やトレーニング方法のみならず、昨今のスポーツ界における指導に関する問題に対応した研修機会や情報の提供に努めて参りたい。 ◆体育協会をはじめとするスポーツ団体において、部員確保に苦慮していることから、市広報誌などを通じて、引き続き市民のスポーツ参加を支援して参りたい。 ◆オルカ鴨川FCの活動を行政の立場から支援し、サッカー人口の底辺拡大や競技力の向上につなげて参りたい。 ◆平成28年度から始まる「鴨川市第3次5か年計画」及び「第2期鴨川市教育振興計画」に基づき、これらの課題に重点的、弾力的に取り組んで参りたい。</p>

○大規模なスポーツイベント等の誘致

事業等名	大規模なスポーツイベント等の誘致
概要	総合運動施設を利用した、各種大会、合宿等の受入れ
実施状況・成果と課題	<p>【実施状況】 市が積極的に受け入れを進めているプロ野球「千葉ロッテマリーンズ」の秋季キャンプが、平成27年度も11月1日から20日までの間、市営野球場などで行われました。 加えて、7月、8月、2月、3月は、首都圏の大学、高校等の合宿で賑わいをみせており、特に、本施設を利用している高校・大学野球チームが、東京六大学リーグや春夏の甲子園に出場し、活躍していることから、施設のPRにも大いに役立っています。 東京オリパラ開催を支援し、本市の発展につなげるために設立された「東京オリンピック・パラリンピック鴨川市対策推進本部」が中心となり、車椅子バスケットボール交流会などを実施しました。 市体育協会や陸上競技協会が中心となり、県民体育大会陸上競技が本市に誘致され、県内33郡市から総勢700人以上の参加により盛大に開催されるなど、市民スポーツの振興はもちろん、大会や合宿利用による地域活性化にも貢献しました。</p> <p>【成果と課題】 ◎スポーツ関係の団体等の合宿、キャンプ等の開催により、スポーツ人口の拡大、意識の高揚等、競技力の向上に大いに資する効果があります。加えて、地域経済の活性化にも寄与しています。また、車椅子バスケット関連の諸事業により、市民のオリパラ合宿受け入れの気運が高まっているほか、本市の取り組み実績が広く県内外に周知されつつあります。 ◆大規模スポーツイベントや合宿施設の拠点となる総合運動施設について、総合運動施設整備計画に基づきながら、効率的・計画的な整備に努めて参りたい。 ◆オリパラ関連誘致については、千葉県や近隣自治体などと連携しながら、情報収集や関係団体への働きかけに努めるほか、プロや全日本クラスのキャンプを誘致するとともに、一定の条件を満たす競技チームや団体等の合宿に対して、キャンプ助成事業を推進して参りたい。 ◆平成28年度から始まる「鴨川市第3次5か年計画」及び「第2期鴨川市教育振興計画」に基づき、これらの課題に重点的、弾力的に取り組んで参りたい。</p>